



北淀高校がエンパワメントスクールに ～平成30年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針～

先日、公立高校入試についての説明会がありました。平成29年度と比べて、次の点以外は大きな変更はありません。

(1) インフルエンザ等による追試

平成29年度までは、出席停止となるインフルエンザ等の感染症にかかった場合も、受験しなければ不合格となりましたが、平成30年度からは、一般選抜のみ、入試日の6日後に追試が実施されることになりました。本来の入試日に別室での受験も可能です。特別選抜は、追試がありません。当日別室での受験のみとなります。



(2) 学科等の改編：

弘濟中学校近隣および大阪市内の府立高校で、次のような改編が実施されます。

① 北淀高校とすでに募集を停止している西淀川高校が統合改編され、北淀高校の校地に「エンパワメントスクール」(総合学科)として開校します。

エンパワメントスクールの教育方針は「中学校の学び直し」と「キャリア教育」です。「学び直し」では、1時間目と2時間目を30分×3の国語、数学、英語のモジュール授業とし、個々に合わせてプリントを主とした個別学習で、基礎学力の定着を図ります。「キャリア教育」では、ビジネスマナーやワープロ検定、プレゼンテーション技術などの社会人・職業人としてのスキルを磨きます。

総合学科の内容は、西淀川高校の「環境」、北淀高校の「アート」が目玉となっています。(難しい言葉は辞書で調べましょう)

② 泉尾高校と大正高校が統合改編され、泉尾高校の校地に「総合学科」の高校として開校します。

③ 北摂つばさ高校が「普通科総合選択制」から「専門コース」のある「普通科」に改編されます。

④ 能勢高校が「豊中高校能勢分校」となります。農業と英語に重点を置き、地域の産業を世界に発信できるグローバルに活躍できる人材を育てます。

入試は「特別選抜」と同じ日に実施され、面接があります。自己申告書と面接が重視されます。

高校の種類 (制度編)

今回は、高等学校の制度としての種類について説明します。

(1) 学年制、単位制

高等学校は単位というもので学習内容が修得できたかどうか判断していきます。週1時間の授業を定められた回数(多くの学校は3分の2)以上に出席し、テストなどに合格すると1単位となります。

① 学年制

学年ごとに修得しなければならない単位(科目)が決まっている、不合格となると、留年と言って、もう一度その学年をやり直さなければなりません。ただし不合格の科目が1~2程度の場合は、追試やレポート提出などで、合格させてもらえることが多いようです。出席回数が足らない場合は、どうしようもありません。多くの学校が学年制です。

② 単位制

一応学年は存在し、必修科目もあり、学年により選択できる教科に制限はあります。自分なりに授業を選択し、決められた単位を修得すれば卒業できます。時間割は自分で組み立てなければなりません。不合格となった単位は、その科目のみ次の年に修得し直せばよいことになります。しかし、どの科目も追試などはほとんどなく、シビアに合格・不合格が決まります。留年はありませんが、単位が揃わないといつまでも卒業できません。



(2) 全日制、定時制、通信制、多部制

① 全日制

中学校と同じように朝から午後にかけて授業を行う学校です。修業年限(卒業までにかかる年数)は3年です。



② 定時制

夕方から夜にかけて授業のある学校です。中央高校は昼から夜にかけて授業があります。修業年限は基本的には4年ですが、土曜日に他の学校の授業を聴講したり通信制高校と併修することで、単位が揃えば3年で卒業することができます。

大阪府内は公立のみで、学科は普通科、総合学科、ビジネス科、工業科などがあります。すべて単位制です。

③ 通信制

郵便によって教材が送られてきて、自分で学習し、レポートを郵便で提出することによって単位を修得する学校です。スクーリングと言って何日間かは学校に行つて授業を受けます。

公立は府立桃谷高校(普通科)のみです。私立もほとんどが普通科です。

専修学校との連携の場合は、専修学校の授業の中に組み込まれますので、特に意識する必要はありません。

公立、私立とも単位制です。

④ クリエイティブスクール(多部制単位制)府立桃谷高等学校

午前(1部)、午後(2部)に分かれています。標準で1部または2部の1日4時間の授業を受けた場合の修業年限は4年ですが、合わせて他の部の授業を毎日2時間受けると、3年で卒業できます。

2部は入試制度を含め定時制と同じ扱いになります。